

【福岡会場】

令和 7 年度

「登録海上起重基幹技能者」講習

試験問題

福岡会場

令和 7 年 10 月

一般社団法人 日本海上起重技術協会

技 能 一 般

[問 1] 登録基幹技能者に求められる能力に関する次の記述のうち、適切でないものを1つ選びなさい。

- (1) 登録基幹技能者は、一般技能者を指揮・監督できるだけの十分な作業能力を有し、出来上がりの点検、工事の是正ができる。
- (2) 登録基幹技能者は、元請の技術者の示す施工計画書等から、現場に適した技能面からの施工方法、作業手順、工夫の提案能力は求められない。
- (3) 登録基幹技能者がその役割を遂行するためには、専門的な作業能力の他、企画・マネジメント・教育指導など幅広い分野における多彩な能力が求められる。
- (4) 登録基幹技能者は、技術者、他の職長との調整能力を有し、未熟練な作業者から一般の作業者へレベルアップさせる OJT を行う能力を有するとともに、現場をまとめる統率力が求められる。

[問 2] 登録基幹技能者の活用に関する次の記述のうち、適切でないものを1つ選びなさい。

- (1) 登録基幹技能者は、公共工事の「総合評価落札方式」での加点対象項目及び元請企業の「優良技能者認定制度」での要件として活用が進んでいる。
- (2) 建設業の許可を受けた者が、建設工事を施工する場合には、元請・下請、請負金額に係わらず、主任技術者を配置しなければならない。登録基幹技能者は、主任技術者の要件の1つとして認められている。
- (3) 登録基幹技能者は、公共工事における「総合評価落札方式」においては評価・活用されているが、一部の地方整備局においては、登録基幹技能者の活用が評価されていない。
- (4) 担い手の中長期的な育成及び確保の促進は、発注者共通の「発注関係事務の運用に関する指針」としてまとめられ、本指針において総合評価落札方式における施工能力の評価の一例として、登録基幹技能者の活用が示されている。

[問 3] 港湾工事の施工管理に関する次の記述のうち、適切でないものを 1つ選びなさい。

- (1) 工事目的物は、設計図書に形状等が定められている。港湾工事の場合、厳しい自然環境の中で施工することから、工場で生産する場合と異なり、出来形を均一に仕上げることは困難なため、許容範囲を多少逸脱してもやむを得ない。
- (2) 受注者は、所定の目的物を工期内に完成させるために工程計画を作成するが、気象・海象の厳しい自然条件下で行われる港湾工事では、工程計画に対し実施工程が大幅に相違し全体工程に影響が生ずることが懸念される場合は、所定の工期内に履行できるよう適正な是正措置を講ずることが必要である。
- (3) 港湾工事を含む建設工事は、他の産業に比べて事故発生率が高い。一度事故が発生すると社会的に大きな影響を与えることがあるので、工事関係者は安全に対して常に強い関心と責任を持つ必要がある。
- (4) 工事目的物の品質及び出来映えは、受注者の施工技術及び施工管理技術により左右される。受注者は設計図書に示された品質を確保するため、施工計画書に記載されている方法に基づき品質管理を実施する。

[問 4] 根固工に関する記述のうち、適切でないものを 1つ選びなさい。

- (1) 防波堤や護岸など波浪を直接受ける構造物（堤体）の基部付近は、基礎捨石の洗掘、吸い出しが起こりやすいため、洗掘防止対策として堤体の基部を保護するため根固めを行う。
- (2) 根固ブロックの据付では、堤体およびブロック相互の伸びを考慮し、所定の個数を据え付ける。
- (3) 防波堤においては、港外側の波浪条件が港内側に比べて厳しいため、根固の目的および作業船の稼働条件から、ブロック据付は港内側より施工するのが一般的である。
- (4) 防波堤等の根固ブロックを撤去し再据付する場合は、付着物除去後の形状把握および吊筋の異常有無について確認を行う。

[問 5] 台風に関する次の記述のうち、適切なものを 1 つ選びなさい。

- (1) 台風は、亜熱帯または熱帯の海域で発生し、水蒸気の供給が少なく暖かな海域で発達する。
- (2) 台風の等圧線は非常に混み合った同心円を描いているが、進行方向に向かって右側は風速が大きく、危険半円と呼ばれる。
- (3) 台風の進路は、発生した時期によらず常に同じルートを通る。
- (4) 日本の付近の南海上で発生する台風は、勢力が弱く、1日から2日で日本列島に来襲することはない。

関係法令

[問 6] 「海上衝突予防法」「港則法」「海上交通安全法」に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 視界制限状態とは、霧、もや、降雪、暴風雨、砂あらし、その他これに類する事由により視界が制限されている状態をいう。
- (2) 石炭、石等の散乱性貨物の荷役を行う場合には、これらの物が水面に脱落するのを防ぐため必要な措置をしなければならない。
- (3) 海上交通安全法の適用海域では、船の長さ（全長）が30m以上の船舶は、航路及び省令で定める区間をこれに沿って航行しなければならない。
- (4) 港内では、汽笛又はサイレンをみだりに吹鳴して、他船に混乱を与えてはならない。

[問 7] 「労働安全衛生法」「労働安全衛生規則」「クレーン等安全規則」に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 労働災害を防止するため、事故現場、立入禁止場所、退避しなければならない場所等の標識は統一しなければならない。
- (2) つり上げ荷重が0.5t以上1t未満の移動式クレーンは、規格を具備すべき機械として規制される。
- (3) 事業者は、労働者の作業行動から生ずる労働災害を防止するため必要な措置を講じなければならない。
- (4) 墜落制止用器具のショックアブソーバーは、フック位置（腰より上か下か）によって適切な種別を選定すること。

[問 8] 「海洋汚染防止法」「船舶安全法」「海上運送法」に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 最大搭載人員数の算定基準は、船舶設備規程、小型船舶安全規則にて定められている。
- (2) 何人も、海域において、船舶から油を排出してはならない。
- (3) 廃油とは、船舶内において生じた不要な油をいう。
- (4) 運送する事業とは、他人の需要に応じて有償で行う事業である。

施工・工程管理

[問 9] 施工管理に関する次の記述のうち、適切でないものを1つ選びなさい。

- (1) 施工計画とは契約条件や、設計図書などに基づき、社会的制約のなかで工事目的物を完成させるための安全管理体制を計画することである。
- (2) 施工計画作成の目的は、施工手段（5M）を用いて発注者の要求する品質の工事目的物を、工期内に、経済的かつ安全に、さらに環境に配慮しながら完成させるための施工方法などを決定することである。
- (3) 施工管理とは、施工計画に基づいて社会的制約に対する対策、管理を行いながら工事施工を行い、工程管理、品質管理、原価管理など工事を管理することである。
- (4) 施工管理の主な内容を分類すると、品質管理、原価管理、工程管理、安全管理が主な管理項目となる。

[問 10] 施工計画における詳細計画に関する次の記述のうち、適切でないものを1つ選びなさい。

- (1) 工程計画の作成手順としては、①各工程の施工順序の決定、②各工程に必要な作業可能日数等の算定、③投入可能な労務量、機械・設備の規模等の決定、④実施工程表の作成である。
- (2) 仮設備計画における任意仮設においては、発注者による構造等の指定がある。
- (3) 環境保全計画における振動・騒音対策には、①発生源での対策、②伝搬経路での対策、③受振点・受音点での対策の3つがあるが、対策の基本は①発生源での対策である。
- (4) 建設副産物対策のマニフェスト制度において、排出事業者は、マニフェストを使用し、委託した産業廃棄物が最終処分まで適正に処理されたか確認する義務がある。

[問 11] 施工要領書作成上の注意事項に関する次の記述のうち、適切でないものを 1つ選びなさい。

- (1) 施工要領書は原則として工種ごとに作成する。
- (2) 一般的に常識的な事項については省略する。
- (3) 施工方法はできるだけ部分詳細図、図表等を避け文書記述を主体として記載する。
- (4) 図面には納まり、寸法、材料名称、材質等を記載する。

[問 12] バーチャート式工程表の特徴に関する次の記述のうち、適切でないものを 1つ選びなさい。

- (1) 縦軸に工事を構成する部分作業（部分工事）、横軸に工期（日数）を取る。
- (2) 初心者にもわかりやすく、多くの工事で活用されている。
- (3) 作業の進捗状況が直視的に分かる。
- (4) それぞれの工程が全体の工期にいかに影響するか明確である。

資材・原価・品質管理

[問13] 「施工管理・施工計画」に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- (1) 工程管理は、約束された工期内に完成することを優先するため、合理性、経済性は特に考慮する必要がない。
- (2) 原価管理は、現場経費を除く材料・労務・外注などの費用を詳しく記録し、取りまとめ、分析し、結論を出すための全般的な会計手続きである。
- (3) 一般に、品質と工程の関係は、品質の良いものは時間がかかり工程は遅くなり、品質を下げると施工速度は上がり、双方には相反する性質がある。
- (4) 施工計画では、品質・工期・価格の3要素に重点をおき、安全と環境については特に考慮する必要はない。

[問14] 「資材管理」に関する次の記述のうち、適切でないものを1つ選びなさい。

- (1) 資材を岸壁から直接積み出す場合、積み出し用の重機があれば、保管場所の選定は必要としない。
- (2) 現場内に保管する場合は、移動がなるべく生じないよう、他の作業工程を十分考慮する。
- (3) 発注計画では、注文書の契約事項・仕様書・設計図・見積内訳書を十分に確認し、問題点や疑問点または積算誤りなどを抽出し、技術者と協議して解決を図る。
- (4) 工場塗装した鋼材を輸送する場合は、塗装面に損傷を与えないように、スノコやシートなどで保護する。

[問15] 「原価管理・見積り・実行予算」に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- (1) 作業計画や施工方法が変わっても、当初の実行予算を変更することはない。
- (2) 見積り時には、隣接工区の取り合い部分の施工など業者の責任範囲を明確にする必要はない。
- (3) 実行予算は、積算段階での見込みや標準的な単価等をそのまま根拠として作成したものである。
- (4) 要素別実行予算の要素別とは、完成工事原価報告書に記載する材料費、労務費、外注費、経費の四要素に区別することである。

[問16] 「品質管理・写真管理」に関する次の記述のうち、適切でないものを1つ選びなさい。

- (1) 施工品質を確保して向上させるためには、可能な範囲で作業の標準化を図ることが必要である。
- (2) 施工品質の確保には、未熟練者や新規入場者よりも熟練技能者に対して、作業標準書に基づいた指導や指示が求められる。
- (3) 港湾工事写真は、「港湾工事写真管理基準」にもとづき、工事全般の状況を確認できるように撮影する。
- (4) 顧客や社会の要求事項を満たすようにコントロールするプロセスを品質管理(QC)と呼ぶ。

安 全 管 理

[問 17] 化学物質のリスクアセスメントに関する次の記述のうち、適切でないものを1つ選びなさい。

- (1) 化学物質管理者を選任したときは、選任届を労働基準監督署に提出する必要はない。
- (2) 保護具着用管理責任者を選任したときは、その氏名を事業場の見やすい箇所に掲示すること等により関係労働者に周知する必要がある。
- (3) 化学物質のリスクアセスメント対象物を製造・取扱い・譲渡提供する事業場は、化学物質管理者を選任する必要はない。
- (4) 化学物質のリスクアセスメント結果に基づき労働者に保護具を使用させる事業場では、保護具着用管理責任者を選任する必要がある。

[問 18] 作業船等による架空送電線接触事故防止対策に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- (1) 作業計画の段階で架空送電線に対して安全な離隔距離を保持出来ることが確認できた場合には、曳航・回航中や工事中に監視員を配置する必要はない。
- (2) 安全な離隔距離については、水面もしくは地面からの送電線の設置高さに応じて最低限必要な離隔距離が決められている。
- (3) 作業船の停泊する場所が架空送電線と安全な離隔距離を保持できる場合、起重装置は装備されている所定の位置に格納固定する必要はない。
- (4) 作業日程・作業方法・防護措置・監視の方法等の作業計画について送電線設置者と事前打合せを行い、関係作業者全員に周知する。

[問19] 金属をアーク溶接する作業に関する次の記述のうち、適切でないものを1つ選びなさい。

- (1) 屋内作業場で金属をアーク溶接する場合、同一建物内の休憩設備は、粉じん作業場所から離れていれば隔壁等で遮断する必要はない。
- (2) 屋外のみで金属をアーク溶接する事業場でも、定期的にじん肺健康診断を実施する必要がある。
- (3) 休憩設備に入室する際は、入室前に衣服、靴等に付着した粉じんを必ず除去する必要がある。
- (4) 屋外のみで金属をアーク溶接する場合でも呼吸用保護具の使用が義務付けられている。

[問20] リスクアセスメントに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- (1) リスクアセスメントの目的は、災害と健康障害の要因を可能な限り取り除いて作業に関連する災害と健康障害が生じないように、安全で快適な職場を作り上げることにある。
- (2) リスクアセスメントを有効に実施することにより、現場のリスクに対する認識を管理者や職長は共有できるが、作業者全員までは共有できない。
- (3) リスクの低減対策を検討する場合は、リスクレベルで定められた優先度の低い項目から対策を講じ、実施することが必要である。
- (4) 新しい工法、機械を取り入れた場合は、リスクアセスメントを見直す必要があるが一度リスクアセスメントを実施していれば、大きな労働災害が発生しても見直す必要はない。